



宇宙に広がる光の雲 ～星のゆりかご～

よく晴れた夜、暗いところで空を見上げるとたくさんの星が見えます。天の川も見えるかもしれませんね。このような星たちのほかに宇宙には、「^{せいうん}星雲」とよばれる^{てんたい}天体もあります。

みなさんは、「^{ぼうえんきょう}すばる望遠鏡」や「ハッブル宇宙望遠鏡」が撮ったカラフルな雲のような写真を見たことがありますか。それが、「^{せいうん}星雲」です。「^{せいうん}星雲」の中には、天文台の大望遠鏡でなくても小さな望遠鏡や^{そうがんきょう}双眼鏡で見えるものもあります。

右の写真は、私が撮ったオリオン座にある「オリオン大星雲」。「M42」ともよばれます。雲のように光っているのは、宇宙にあるガス。近くにある星からのエネルギーを受けて光っています。ガスの成分は、ほとんどが^{せいぶん}水素ガスで、赤っぽい光をだしています。ガスを光らせているのは、ここで生まれた若い星たち。このような星雲を「^{さんこうせいうん}散光星雲」とよびます。

この「オリオン大星雲」の中心には、生まれたばかりの星がいくつもいくつもかかれています。小型の望遠鏡でも「オリオン大星雲」のぼんやりとした^{すがた}姿を見ることができますよ。



オリオン大星雲M42(散光星雲)は、星のゆりかご。生まれたばかりの若い星が母なるガスを光らせる。

かいせつじん ひきた あつし
(解説員：疋田 純之)